

わっくわくまつり4年ぶり開催決定

わっくわくまつりが4年ぶりに帰ってきます！
 今年は9月23日（土・祝）に開催いたします
 （荒天中止の場合あり）。どのようなまつりになるか、お楽しみに。

企画進行状況は、この通信ともにで随時お知らせします。ちなみに右の写真は前回4年前のもの
 です。花の色は移りにけりないたづらに（小野小町の句より）。



令和元年9月7日



今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、
 もしくはEメール info@npo-tomoni.com へ。

詠み人解説

北海道は運動会シーズン。昔開催の知らせは朝の花火だったのが、今スマホ一斉メール。時代やな。

運動会
 親は花火で
 子はメール

さかさかまぼこ

詠み人解説

人生初の登校日。ぼくの晴れ舞台なのにママがなぜかぼくより目立っている。なぜ？

初登校
 主役はボクだ
 ママじゃない

山河水鏡

精神科医 土田正一郎の



その81 借りる

薬の力に頼ってはいけない。寄りかかり続けると、自分の力で立つことを忘れてしまうからだ。薬の力は、ちょっと借りるくらいにしておくのが、粋な現代人である。

借りるということは、返すことを前提にしておくのだから、大丈夫になったらいつでも返すことができるという関係を維持しておくこと。特に薬とは。

各事業報告～5月 日現在

障がい者就労支援事業所
 ワークショップようてい

契約／移行0人、B型22人

グループホーム
 よろこび

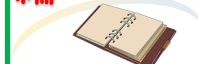
利用者数 21人 空室1部屋

K.S.C. Juntos

当事者選手 10人
 サポートスタッフ 5人

- ◆法人会員 正会員17人
 賛助会員 団体5団体 個人47人
- ◆今年度寄付金 のべ2人 9,000円
- ◆寄付物品 牛乳パック 山菜

編集後記



今年も通常総会が終わりしました。久しぶりの対面開催で私も襟を正して臨みました。総会は正会員の方の意見を聴くことができる、年一回の貴重な場です。もちろん読者のみなさまからのご意見も大切です。内外の方との対話をこれからも積み重ね、よりよい法人、よりよい広報をともにつくっていかれたらと思います。（かわさき）

通信

ともに

第97号

2023年5月29日発行
 認定NPO法人ともに

住所 〒044-0053
 北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
 でんわ (0136) 55-5828
 FAX (0136) 55-5829
 Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>

ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



今年は全速力だったサクラ前線
 ～余市町中央公園

4月27日 Oさん撮影

通常総会 役員改選のご報告

5月19日、当法人の令和5年度通常総会が食堂にておこなわれ、4年ぶりの対面開催となりました。

役員改選もおこなわれ全員が再任となりました。なお今年度から監事は1人体制となり、平成23年から監事を務められた中山誠人さんが退任されました。法人設立初期からご尽力いただきありがとうございました。



令和5年度 NPO法人ともに
 役員体制一覧
 （任期2年 敬称略）

理事長	小林 敦子	NPO法人ともに	再任
理事	神代 直人	NPO法人ともに	再任
	黒木 満寿美	J A厚生連 倶知安厚生病院	再任
	後藤 龍太郎	社会福祉法人 京極町社会福祉協議会	再任
	高橋 宏幸	(株) マルテン高橋	再任
	田中 祐司	日本郵便株式会社 倶知安北郵便局	再任
監事	阿部 優子	元倶知安町社会福祉協議会	再任

令和5年度通常総会報告

4年ぶりの集合開催は、正会員が久しぶりに顔を合わせることもありにぎやかな挨拶から始まりました。令和4年度の事業報告では、WS就労移行支援が前年度に3人の就職があり利用者が少なくなったことで、喜ばしい反面事業経営が厳しい状況が報告されました。

令和5年度の活動計画は感染対策をとりつつ法人イベントの再開を進めることが承認されました。他のWS事業形態変更および役員報酬規程についても可決されました。

令和4年度会計決算

経常収益	87,910,768円
経常費用	90,926,005円
当期正味財産増減額	▲3,015,237円
前期繰越正味財産額	53,336,567円
次期繰越正味財産額	50,321,330円
☆固定資産	78,586,751円
☆長期借入金	49,101,144円

K.S.C.Juntos 事業活動報告

新規登録者	2人
退部者	1人
3月末時点の登録者	
当事者会員	8人
サポートスタッフ	8人
チームサポーター	2人



障がい者就労支援事業所ワークショップようてい 事業活動報告 (カッコ内は前年度比)

☆就労移行支援 (開所267日)

一日平均利用者数	0.7人 (-2.2人)
新規登録者	0人
退所者	1人[うち就職1人]
3月末時点利用登録者	1人

☆就労継続支援B型 (開所267日)

一日平均利用者数	15.0人 (+0.9人)
新規登録者	0人
退所者	1人
3月末時点利用登録者	20人

☆工賃平均月額	14,886円 (+4,596円)
☆工賃時給換算	425.0円 (+144.5円)

グループホームよろこび 事業活動報告

(カッコ内は前年度比)

新規登録者	2人
退去者	1人
3月末時点の利用登録者	21人 (+1人)

かぶろうヘルメット～自転車で努力義務化

道路交通法が改正され、4月から自転車に乗るときヘルメットの着用が「努力義務」になりました。これまでは13歳未満の子どもが対象でしたが、これからはすべての年齢が対象です。

JAF（日本自動車連盟）の調査データで自転車同士の事故の際、ヘルメットなしで頭を地面に打った時の衝撃度が、かぶっている時と比べて17倍になるということです。命の危険にもなりかねません。

自転車用ヘルメットはホームセンターなどで数千円程度で売られています。また帽子の形をしたものもあります。あなたとあなたの大切な人のため、自転車に乗るときはヘルメットをかぶりましょう。



参考ウェブサイト

NHK NEWSWEB「自転車用ヘルメットの着用が努力義務化 あなたはどうする？」

JAF「自転車同士の出会い頭衝突（JAFユーザーテスト）」

永遠に終わらない会社を ～ 同友会例会



蒸溜釜。写真右がストレート・ヘッド型、左のひょうたん状がバルジ型



樽は木の種類や以前使用したお酒の種類により香りなどが異なるそうです。

4月27日、当法人が入会している中小企業家同友会しりべし・小樽支部の山麓地区例会があり、理事長とかわさきで出席しました。会場は二セコ町にある株式会社二セコ蒸溜所（2019年2月設立）

で、講師は代表取締役の南雲二郎さんでした。南雲さんは清酒「八海山」で知られる八海醸造株式会社代表取締役社長でもあります。

講演を前に二セコ蒸溜所を見学させていただきました。蒸溜所がある場所の地下水は硬度33度の「極軟水」で、これはウィスキーを作るのに適した水だそうです。発酵した麦芽などの原料は写真左上の蒸溜釜で蒸溜されます。このウィスキーの原料は写真左下の樽に入れられ、何年にもわたってじっくりと寝かせます。寝かせる間に樽のウィスキーは少しずつ蒸発していきます。職人はこの蒸発した酒を天使が飲んだものとして「天使のわけまえ」と呼んでいるとか。販売するまで時間がかかるため、その間ジンを作って販売しているとのことでした。

南雲さんの講演で印象に残っているのは「永遠に終わらない会社を目指す」という言葉です。同じことを続けていると必ず終わりが来る。そのため常に新しいことを目指し、将来を明確化することが大事とおっしゃっていました。現在の立ち位置に満足することなく、挑戦を続けることが組織や社会が発展できるのではないかと感じました。

グループホーム よろこび

レクで春を満喫



4月26日、グループホームの利用者さん8人が参加し、余市町&仁木町班、岩内町&共和町班の二手に分かれ、日帰り旅行をしてきました。

買い物や外食などふだん行けない町外に出かけ、利用者さんはとても満足していました。写真は岩内町&共和町班が行った桜満開の岩内神社通り。あいにくの雨でしたが満開の桜に参加者はにっこり。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

これからの季節野菜 お楽しみに♪



農業部で収穫した野菜は随時コミュニティカフェわっくわくで販売しています。

5月は黒千石大豆を小分けしたものを販売し、好評いただきました。夏にはズッキーニやトマト、秋はかぼちゃやじゃがいもといった、季節ごとに多くの種類を販売します。自然栽培で安心の野菜をみなさんもお買い求めください。（左写真は昨年8月撮影）

次号で農業部今年の野菜を特集する予定です。